

第36回
東京国際映画祭

第14回
北京国際映画祭

第11回
トリノ映画祭

第19回
CAMERA JAPAN Festival

第8回
JAPANUAL

第31回
バルティビア国際映画祭

第45回
PFFアワード
グランプリ

第17回
NY JAPAN CUTS
大林賞

第24回
ハンブルク日本映画祭
最優秀独立作品審査員賞

カメラが回るたび、
青春は動き出す

Retake



麗 (チョークューメイ) 武藤優汰 タカノ アレイナ 大原奈子 千葉龍青

監督・脚本・撮影・編集：中野見太 撮影：柳田修平 録音：飯塚了、土佐香理、庄司華菜、石井優輝 照明：金内直文

音楽：れんひ (チョークューメイ) 主題歌：チョークューメイ「また、夏になる」

配給：ミカタ・エンタテインメント 宣伝：ムービー・アクト・プロジェクト

2023 / 日本 / カラー / 110分 © 湘南市民メディアネットワーク

繰り返す夏の日、映画づくり。まだどこにもない、驚きにあふれた青春“映画”が始まる——

カメラが回るたび、映画は驚きであふれていく



映画じつりのひと

夏を描く、まだどこにもない青春譚

Story

高校3年生の景はある日、遠い存在と思っていた同級生の遊から映画づくりに誘われる。遊が撮りたい映画は「絵描きの男の子と落ち着きのない女の子が『時間の流れない世界』を目指して旅をする」という物語。友人のアリサ、海、二郎も集い、撮影が始まる。共に創作をする喜び、ほのかな恋心、過去の行き違い…さまざまな思いを抱える彼らの関係が、映画づくりとともに移り変わっていく—— 繰り返す彼らの夏が辿り着くラストシーンとは？



Introduction

手探りで映画をつくる学生たちのかけがえのない、しかし限りある時間を、虚実を横断する唯一無二の手法で切り取った驚きにあふれた青春映画。そのユニークな手法と作家性が高く評価され、PFFアワード2023グランプリ、北米最大の日本映画祭「ジャパンカッツ」にて大林賞を受賞するなど国内外の映画祭を魅了してきた本作が遂に劇場公開を迎える。

映像制作ワークショップを多数開催してきた中野晃太が監督を務め、大躍進中のバンド・チヨキユイメイのメンバーとしても活躍する麗が映画づくりに目覚

めるアグレッシブな高校生・遊に扮する。

映画づくりをするメンバーを、CMから自主制作映画まで幅広く活躍する武藤優汰、共に麗の友人でもあるタカノアレイナと大原奈子、大学で映画を学んでいた千葉龍青という、限りなく役柄とその関係性に近い顔ぶれが等身大で演じる。

主題歌は麗が高校時代に制作しており、チヨキユイメイのバンド形式として蘇った「また、夏になる」。本作のテーマと図らずも重なるという、小さな奇跡を起こした楽曲が作品世界に彩りを添える。



一見、ありふれた青春映画の1コマから始まる本作は、しかし、私たちの予想を鮮やかに裏切り、映画的思考と生きることの哲学が交わる深淵へと観客を誘っていく。

ともすれば、理論先行の堅苦しい作品になりがちな映画というメディアに関する自己言及的な実験を、俳優たちのみずみずしい演技によって軽やかに描いた稀有な一作。

中根若恵 (映画研究者)

1.18(土) ロードショー

<https://retake-movie.com/> X @retake_movie Instagram nakano_retake

新宿K's cinema

新宿駅東南口階段下ル 甲州街道沿ドコモショップ左入ル
03(3352)2471 www.ks-cinema.com
各回入替・全席指定席

